

きずな

北九州市立折尾西小学校

学校だより 12月号

令和元年12月16日(月)

校長 成重純一

工事終了 きれいになりました

6月から続いた外壁改修工事が終わりました。保護者の皆様、地域の皆様には、不便なところが多々あったと思いますが、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

足場の解体が進むと、あちらこちらで「わあ、明るい。」という子どもの声が聞かれました。廊下が見違えるほど明るくなりました。寒くとも、日が差し込むのは、気持ちよいものです。

校舎の色は、これまでどおり、白い壁に、本校の校旗にある緑を組み合わせた配色としました。緑色は、やや淡くしています。そして、校舎と体育館の塗装の仕方が分かれていたのを揃えていただきました。運動場から見ると、左の校舎から右の体育館までつながる統一感が感じられると思います。さらに、音楽室等に行く渡り廊下の柵(2階と3階)を新しいものに変えています。子どもたちときれいになった校舎を大切に使っていきます。



ポイントラリー集会

先月、児童委員会が企画した「ポイントラリー集会」が行われました。これは、異学年が混ざったグループで会場(体育館や教室)を回り、ゲームをクリアしていくものです。楽器の音当てゲームや空き缶積み、ペットボトルボーリングなど、13種類のゲームが用意されていました。

あるグループでは、「心配しなくても大丈夫よ!」「ついて来てる?」と高学年の子どもが声をかけ、低学年の子どもが手をぎゅっと握る姿が見られました。会場の係の子どもは、「こっちに並んで。」と声を張り上げていました。

学校では、同じ年齢で形成された集団で生活していますので、こうした異学年の子どもの関わりは、とても貴重なものです。上級生への尊敬の心や下級生への思いやりの心が育つ機会です。



安全な冬休みを

子どもたちの身近なところでの危険は、言うまでもなく交通事故です。運転中に携帯電話を操作する「ながら運転」を厳罰化する改正道路交通法が12月1日に施行されました。法改正による一定の抑止力は期待できるものの、スマートフォンやカーナビゲーションシステムがない時代でも、運転中、脇見をしたり考え事をしたりして交通事故は起きていましたので、安心はできません。「歩道や路側帯からはみ出さずに歩くこと。」「信号を守って横断歩道を渡ること。」などの指導は、学校でも続けていきます。

また、先月には、校区内で、本校児童が不審者から声をかけられ誘われる事案が発生しています。日が短くなる冬は、特に心配です。お子さんが一人で遅くまで外にいないようにご家庭のルールをもう一度お子さんとお確かめください。子どもたちが安全な冬休みを送ることを祈っています。